

ソレイタ D メディア™ デジタルプリンティングフィルム

屋外用デジタル壁紙

FD-M7808G/M

■概要

本書は、ソレイタDメディア™ 屋外用デジタル壁紙（FD-M7808G/M）の施工上の注意事項について記載した説明書です。

■環境条件について

- ・屋外への施工の場合、雨天、強風の日は避けて施工を行ってください。
- ・被着体の温度が10℃～40℃の環境下で施工を行ってください。10℃以下の場合はドライヤー等で被着体の温度や製品を温めてから施工を行ってください。

■施工について

【使用前の被着体確認及び清掃について】

- ・被着体表面にチリ、ホコリ、土砂などの汚れや油脂などが付着していると十分な接着力が得られないため、清掃（水拭きやIPA、高圧洗浄等）を行ってください。
- ・被着体が平滑な場合、雑巾等を使用した乾拭き・水拭き・IPAで清掃してください。また、平滑ではない場合はホウキやブラシなどを使用し、汚れを除去してください。
- ・清掃後は十分に乾燥したことを確認した上で施工を行ってください。
- ・清掃後でも汚れが付着する場合や、表面を擦るといつまでも表面が脱落する場合は推奨しません。

【推奨被着体】

以下に被着体別の施工可否及び注意事項の一例を示します。

被着体		写真	施工可否	注意事項
コンクリート	塗装なし		可	剥離時のコンクリート・塗装の脱落や糊残りの可能性あり
	塗装あり			
	モルタル			

被着体		写真	施工可否	注意事項
コンクリート	コンクリートブロック等		注意	表面脱落による接着不足、水の染み出しの可能性あり
ALC	塗装無し		注意	表面脱落による接着不足の可能性あり
	塗装有り		注意	形状・種類による
塗装	スタッコ		注意	形状・種類による
	リシン、砂目調		注意	形状・種類による
	ゆず肌、梨地		注意	形状・種類による
	平滑		可	剥離時の糊残りの可能性あり
レンガ・タイル等	レンガ		注意	形状・種類による
	タイル		注意	目地が深く基材が動く場合は不可
	サイディング		注意	形状・種類による
石	磨き仕上げ		可	剥離時の糊残りの可能性あり
	凹凸あり		注意	形状・種類による

※施工可能な被着体であっても、被着体の状態により施工できない場合や再剥離性能が発揮できない場合がありますので、予めご了承ください。また、保管環境や施工環境などの影響により経年変化が発生し、十分な接着力が得られない場合がありますのでご注意ください。

必ず使用前のテスト施工により、接着力や再剥離性能が十分あることを確認の上、ご使用ください。

【施工注意事項】

- ・施工時にはヒートガンで温めながらローラ等を使用し、しっかりと圧着してください。圧着が不十分な場合はフィルムの剥がれや収縮が発生する場合があります。
- ・汚れ防止など特殊な機能が付与された被着体には施工できない場合があります。
- ・降雨等によって被着体に常時水分が浸入・浸透する場合、フィルムが自然剥離する場合があります。
- ・被着体から水分が染み出す場合は、貼付できても経時変化にて、剥がれなどの外観異常が発生する場合があります。
- ・3次局面など、フィルムを伸ばしながら施工する必要がある場所は推奨できません。
- ・被着体の表面がもろい場合や塗膜の密着性が低い場合、塗膜が劣化している場合などは被着体表面や塗膜と共にフィルムが剥がれる可能性があります。
- ・コーキング部分にはフィルムを切り取るなどの措置を行い、コーキング部分にフィルムが接さないように施工してください。
- ・コンクリート系下地は工場製造、現場における打設、経年劣化等により様々な外観状態を有します。施工可否、下地処理の判断が重要になりますのでご注意ください。
- ・コンクリート塀に施工する場合は、上部からの水の侵入を抑制してください。上部からの水の侵入によりフィルムの剥がれ、膨れが発生する場合があります。

【プライマーの使用について】

- ・接着が不十分な場合や施工後に自然剥離が発生する場合、被着体表面が脱落やチョーキングが発生する場合はプライマーをご使用ください。
- ・プライマーが被着体に染み込みやすい場合は、最低2回以上塗布してください。（1回目が乾燥後に2回目を塗布してください）
- ・プライマーが乾燥後、表面に光沢感があるような状態となるようにしてください。
- ・プライマーを塗布した場合は、原状復帰ができません。また再剥離性能が発揮できない場合もありますので予めご了承ください。

※プライマーの詳細の使用方法は各メーカーにお問い合わせください。

【端部処理】

以下の状況の場合は、エッジシーラー等を使用し、端部処理を行ってください。

- ・接着が不十分な場合。
- ・貼付後に被着体とフィルムの上に隙間がある場合。
- ・雨だれなど水の通り道になる場合。
- ・被着体に吸水性が有り、吸水した水分が染み出す可能性がある場合。

■剥離について

- ・全ての被着体において再剥離性能を有するものではなく、使用期間・使用環境、出力・乾燥条件、使用インク、剥離方法や剥離環境などによって、剥離状況は異なりますのでご注意ください。
- ・ヒートガンなどでフィルムを温めながら剥がしてください。
- ・フィルムは勢いよく引っ張らず、ゆっくりと速度を一定にし、少ない面積にしながらかけてください。
- ・平滑面や艶のある表面、被着体の特性によっては、接着力が増し剥離が困難になる場合がありますので、必ず事前にご確認ください。
- ・被着体の表面がもろい場合や塗膜の密着性が低い場合、表面が劣化している場合などは剥離時に被着体表面や塗膜などがフィルムと共に剥がれる可能性があります。
- ・フィルムを剥がした際にクリア塗装ごと剥がれる場合があります。原状復帰には再度クリア塗装が必要となりますので、事前テストにて剥がれの有無をご確認ください。
- ・スクレーパー等を使用して剥離する場合は、被着体に傷が付く恐れがありますのでご注意ください。
- ・剥離剤を使用する場合は、塗装などが溶けてしまう場合がありますので、事前にテストを行ってください。また、剥離剤は一気に全面に吹きかけず剥離箇所ごとにご使用ください。
- ・剥離剤を使用した場合でも、剥離できない場合がありますので、予めご了承ください。

■耐候年数について

- ・耐候性の数値は弊社試験結果に基づく予想される年数であり、保証年数ではありません。
- ・耐候性は被着体の凹凸面へ十分に追従した垂直面でインク自体に耐候性を有する場合に限ります。
- ・施工方法や使用環境により、短くなる場合があります。
- ・物理・化学的に厳しい条件でご使用になる場合はより耐候性が短くなります。

- * 製品についてご不明な点などございましたら、お問い合わせください。
- * 本書の著作権は当社に属します。よって、無断で複写・複製、引用、公開などを禁止します。
- * 本書は、本製品に関する製品情報及び環境安全に関わる情報を提供するものであり、性能や品質を保証するものではありません。
- * 製品の仕様および外観は改良のため予告なく変更させていただくことがあります。
- * 使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任も全て負うものとします。
- * 売り主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。
- * 本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売り主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限りは当社は責任を負いません。



PLASTICS & BUILD MATERIALS

藤田産業株式会社

FUJITA INDUSTRY co.,Ltd.

初版 2020年 6月発行
第1.2版 2020年11月発行

取扱説明書 FD-M7808G/M 4